

支 部 欄

岡山の日食事業

○岡山日食展覽會 去6月17日から19日迄3日間、岡山縣圖書館聯盟、倉敷天文臺共同主催、中國民報社後援の許に、岡山縣立圖書館樓上に於て開催した。3日間の來觀者4千人を突破し、縣立圖書館既往展覽會に比較すると第2位に屬する盛會であつた。

6月19日の日食に關する圖表、天文書、天體寫眞、天體繪葉書、天文に關する諸器械等を陳列し團體の參入多く、19日には數臺の望遠鏡を据付けて、黑點及び部分食を觀望させた。倉敷天文臺小山秋雄、宮原節、水野千里の3氏は北海道皆既日食地帯に出張されたので、東亞天文協會員坂本鑒四郎、矢吹一、中藤時義の3氏が中心となつて活動され、岡山縣立圖書館長武藤正治氏始め館員諸氏の助力は多大なもので、中國民報社の後援振り鮮かで三者相俟つて好結果を生じたのである。

因に倉敷天文臺に於ては、倉敷商業學校佐々木元一、井上、早苗兩教諭指導者となつて、數百の來觀者に満足を與へ、これ亦好成绩を舉げたのである。

T. M. 生

○日食座談會 去る7月16日岡山市西大寺町明治製菓販賣店樓上に於て、岡山縣圖書館聯盟、倉敷天文臺、中國民報社共同主催の許に開催された。中國民報社金木博治氏開會の辭に次いで、倉敷天文臺主事水野千里、第六高等學校教授宮原節兩氏の皆既日食觀測報告があつた後、座談會に移り3時間の後22時半閉會した。

本日の列席者は下記の通りである。

岡山縣立圖書館館長武藤正治、司書河本一夫。

岡山縣測候所所長藏重一彦、技手進備一郎。

中國民報社—金木博治、小野嘉夫、宇野善三。

岡山縣第一岡山商業學校—教諭浦上宗衛。

岡山市深祇小學校—訓導横田義太郎。

關西中學校—教師磯崎旭郎。

著述家—渡邊頼母。

齒科醫—辻正子郎。

文獻書房主桂又三郎。

東亞天文協會員—六高教授宮原節、坂本鑒四郎、牧師深井漁二、關中司書矢吹一、三好宗七郎、倉敷教諭井上早苗、中藤晴義、窪田繁夫、倉敷天文臺主事水野千里。

T. M. 生

京都支部・京星會だより (6月)

黒い太陽、覆面太陽、新聞が連日ジャンジャン書きたてる。日が迫るとともにアマチュア群が北海道へ北海道へと出掛ける。北海道の一線から満洲へ、シベリヤへ連なる観測陣はすつかり準備を完了し、唯當日の天気のみを祈る。遂に來た6月19日、オホツク海の低氣壓は上斜里に陣どつた遠來の観測隊に深い恨を與へたが、他の土地は殆んど晴れてコロナ、プロミネンスの美觀、観測に觀望に充分の結果が納められた。内地の部分食も關東地方の曇りを除き大抵は晴れて、近畿一帯は梅雨氣も見せない蒼空が輝き、初虧から復圓まで完全にキャッチされた。新聞が科學の部門をかくも大きく扱つた事は全く今迄にない事であり、日本の文化、科學知識の一步前進を示し、小學兒童の日食觀望が實際教育の立場から以外な効果を擧げた、等々數多の興味ある問題を殘し日食は終つた。この日食に際し京都の天文同好者團體として京星會の活動が充分に計られ認められた。

○日食觀測指導 大學の花山天文臺も教室も諸先生はすつかり北海道、滿洲、シベリヤへ出張で空屋同然となり、觀測を指導すべき専門家は京都に誰も殘つてゐられない。それで新聞社、中學校、其他より天文臺宛に來る日食觀測に就ての照會には當會觀測部が當り、説明や觀測方法の指導がなされた。日食當日は公開觀望會の他に京都府立第一中學校、大津市藤井天文臺、膳所中學校等へ幹事が分れて出張し、切虧時刻、氣象觀測が行なはれ、機械の調整觀測指導がなされた。

○日食觀望會 19日(金)日食當日、花山天文臺は一般の公開を許さないため當會に於て公開觀望會が計畫され、市の中央部二條公園に13樞反射赤道儀、11樞反射經緯儀2臺、3樞屈折經緯儀の4臺の機械を運び出し、ラヂオを設置し時報を受け、直視法投影法により切虧時刻の觀測、氣溫の變化等の觀測がなされ、虧けた太陽を一般人に觀望せしめた。各新聞に發表された事とて數百名の觀象が押寄せ幹事は機械の調整と、日食解説に汗だくとなり、觀望整理のために附近の市電交叉點より交通巡查が出張した賑ひであつた。

大 阪 支 部 報 告 (7 月)

◆6月21日六月第2回例会開催

心齋橋筋をぐらやビルディングにて13時開會。日食観測報告を座談的に各自発表、各地観測隊情况報告等あり。特に披露せられた伊達英太郎氏の初虧より復圓までの15枚の連続写真は學術的見地より貴重なる收獲である。出席者17名にて盛會、大朝が記念撮影をなし同紙22日附朝刊に紹介せり。又、心齋橋新聞社主筆も出席し、7月1日附同紙に伊達氏の記事掲載あり。

◆7月1日附支部報第10號發行

支部報用紙3枚、130部發送し第1頁會告欄、第2・3頁談話室として遠輕観測隊付大阪支部特派員の通信、神戸・和歌山部員の通信、本部中村氏の上斜里英國隊訪問記、志龍須氏の大連支部便り等で賑ひ愈々内容充實。

◆7月5日七月例会開催

をぐらやビルにて19時より開會、北海道よりの日食土産話を聞く會として先づ花山第3観測隊の高城氏の、遠輕にての観測陣の準備より當日までの體驗談を語られ、津田氏はコロナのスケツチを示されつゝ壯麗なりし皆既日食の美觀を目のあたり見るが如く話され。尙同氏は16m/m撮影機にて日食行脚をフィルムに收められ、8月例会に見せて頂く事を約束される。森氏は女滿別にて見たる感想を述べられ、今更乍ら日食時の興奮に溶け込む。出席者19名、席上いろいろの日食写真を回覧しつゝ盛會裡に22時半閉會。

◆上宮中學支部の誕生

支部委員・同校の前田徳次郎氏の御盡力で、同校の熱心な生徒と10種屈折望遠鏡が主體となつて、上宮中學支部が誕生する運びとなり慶賀に耐えない。豊中・市岡各中學・大手前高女と共に大阪支部と提携し以つて、本邦天文學普及の中心地が大阪に建設さるゝ日が愈々近くなる。

大 阪 支 部 8 月 例 會

1. 日時 8月8日(土) 18時より

1. 場所 心齋橋筋八幡筋南入西側 まぐらやビルディング3階

1. 天文座談會

1. 日食映畫の映寫

1. 大口周作氏の土産話等

例により遠近より御出席あらん事を望みます。